

W-790 取扱説明書

W790-2209

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下しますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

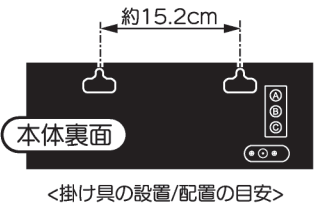
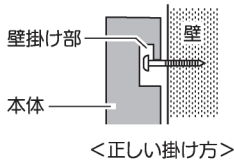
製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
- 使用電源: 専用アダプター
AC100V 50/60Hz 0.2A/ 出力: DC5V 1A
- 消費電力: 5W
- 使用温度範囲: 0 ~ +40°C ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 時刻表示: 12 時間制表示、または 24 時間制表示
- 夜間自動減光機能: 午後 10 時 00 分 00 秒 (22 時 00 分 00 秒)
~ 午前 6 時 59 分 59 秒

時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると、掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



※本製品裏面にある壁掛け部の左右2点間の距離は約15.2cmです。
掛け具を使用する際、参考にして下さい。
※掛けてご使用になる場合は、必ず掛け具を2個使用し、左右2点の壁掛け部に確実に掛かっている事を確認してご使用下さい。

専用アダプターのご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



強制

- 必ず付属の専用アダプターを使用する
他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがある。
- 専用アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使い方をしない
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になる。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んで使用する
差し込みが不完全だと、火災や感電の原因になる。
- 本体や専用アダプターから発熱・煙・臭気などがするときは、直ちに専用アダプターをコンセントから抜く
そのままにすると、感電や火災の原因になる。
- 電源プラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になる。
- 使用中の専用アダプターが触れられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止する
- 電源プラグは主遮断装置であり、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見え、容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する



禁止

- 専用アダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがある。
- 雷が鳴りだしたら、本機や専用アダプターにふれない
感電の原因になる。
- ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になる。
- 専用アダプターやケーブルが痛んだときは使用を中止する
そのまま使用すると、感電や火災の原因になる。
- 電源コードを束ねたり、結んだ状態で使用しない

注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容



強制

- 長時間使用しないときは、専用アダプターを取り外す
安全のため専用アダプターを取り外す。
- 専用アダプターのケーブルを引っ張らない
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、専用アダプター本体を持つ。



禁止

- 使用中の専用アダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になる。

表示画面のご注意

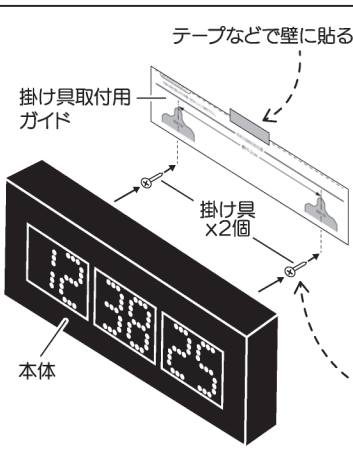
注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容



禁止

- 表示画面を凝視しない
目に悪影響を及ぼす恐れがあります。

掛け具取付用ガイドのご使用方法について



掛け具を取り付ける際は、本取扱説明書下部の(掛け具取付用ガイド)を点線に沿って切り取り、壁掛け部中心線に合わせて壁面に掛け具を取り付けて頂く事が出来ます。本体裏面の壁掛け部の2点間の距離と水平垂直の確認にご使用下さい。
※テープなどで壁に本取扱説明書を貼り付けてご使用になる際は、テープを剥がす際に壁面を傷めないよう充分ご注意ください。

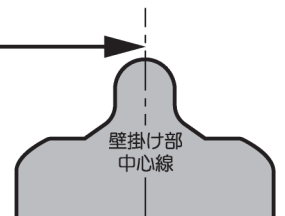
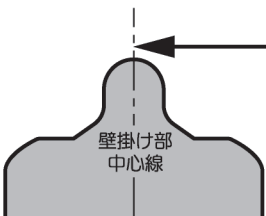
壁掛け部中心線の延長線上を目安に、2本の掛け具が水平になるように取り付ける。

掛け具取付用ガイド

※掛け具を取り付ける際に目安としてご使用下さい。

本体天面の目安位置

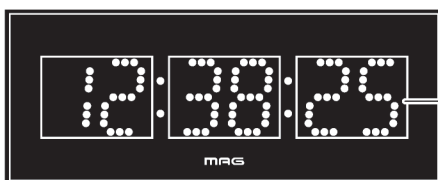
約15.2cm



注意

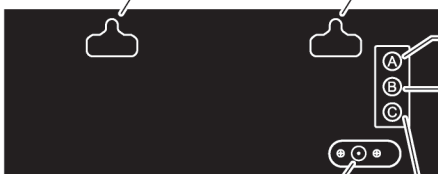
表示画面を凝視しないで下さい。
目に悪影響を及ぼす恐れがあります。

本体正面



時刻表示：
時/分/秒を表示します。

本体裏面



【壁掛け部】
※掛け具を使用する際は、
本書 **【時計の掛け方について】**
を参照して下さい。

【Aボタン】
時刻設定に使用します。

【Bボタン】
設定操作中に1回押すご
とに項目を加算します。
12/24時間制表示の切替
に使用します。

【Cボタン】
時刻設定を終了するとき
に使用します。

【プラグ差し込み口】

【プラグ】

AC100V

【専用アダプター】



ご使用方法

①本体正面左下のラベルを剥がす。



②本体裏面のプラグ差し込み口に、専用アダプターのプラグを差し込む。

③専用アダプターをコンセント(家庭用電源AC100V)に差し込む。
→表示が点灯し、本体が起動します。

12/24時間表示切替

通常時刻表示のときにBボタンを3秒以上押すと、12/24時間表示を切り替えることができます。

夜間自動減光機能

表示時刻が22時00分00秒(午後10時00分00秒)から、翌朝の6時59分59秒までの間、LEDの光量を自動的に抑えて、まぶしさを軽減します。

※内蔵ICで制御されていますので、時間の変更は出来ません。

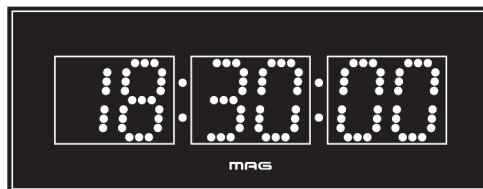
※時刻設定時に午前と午後の設定を間違えると、夜間自動減光機能が夜間に作動しなくなります。時刻の設定は24時間制表示で行うようにして下さい。

※夜間自動減光機能が動く22時00分00秒(午後10時00分00秒)から、翌朝の6時59分59秒までの間に時刻設定を行い現在時刻に合わせた場合、時刻設定の完了から約30秒後に機能が動き、LEDの光量が抑えられます。

注 時刻設定は24時間制表示で行って下さい。12時間制表示での時刻設定をして午前と午後を間違えると、夜間自動減光機能が夜間に作動しなくなります。

意 設定中の点滅は約30秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

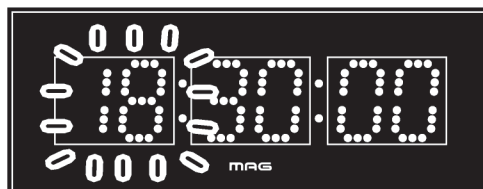
①24時間制表示で時刻が表示されていることを確認してください。



電源を入れた直後の表示(24時間制表示)

②電源を入れると、「18:30:00」を表示します。
※電源を入れた直後は24時間制表示に設定されています。

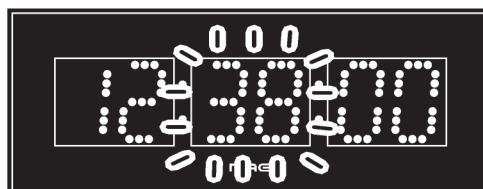
③Aボタンを押すと、[時]が点滅して時刻設定に入ります。
Bボタンを押して[時]を設定して下さい。(減算は出来ません)
※Bボタンを押し続けると早送りします。
※設定操作の途中でもCボタンを押すと、設定モードが終了し、通常時刻表示に切り替わります。



【時】の設定

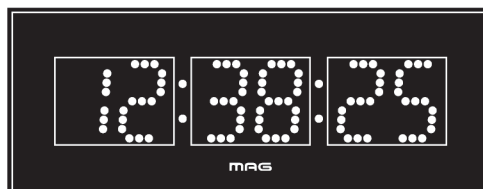
④Aボタンを押すと【時】の設定が完了し、【分】が点滅します。

⑤Bボタンを押して【分】を設定して下さい。(減算は出来ません)
※Bボタンを押し続けると早送りします。
※【秒】は【分】の設定をすることに00秒に設定されます。



【分】の設定

⑥【分】の設定が終了したらAボタン、またはCボタンを押して下さい。
点滅が終了して、設定が完了します。



設定完了(通常時刻表示)